

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

224号



2020年5月30日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 新航空路運用に一時停止の申し入れ

羽田問題解決プロジェクトや衆議院議員の松原仁氏・海江田万里氏は、新型コロナウイルスの感染拡大により減便が激しいことから羽田増便計画を一時凍結するよう、国交省に申し入れています。

コロナが落ち着いても各航空会社は減便による赤字に転落、V字回復は見通せていません。ますます羽田増便は不必要な計画になっています。しかし国交省は意地になって撤回しようとはしません。

○ 依然としてゴーア라운드

3・4月のゴーアウンドがそれ以前と比べ数が減ったのは、コロナ問題で航空機の減便によると思われます。4月に新コースの運用が始まり、そのコース上で初めてのゴーアウンドが行われました。A滑走路2件、C滑走路3件の発生。いずれも南風時の都心低空着陸コースです。南風時のゴーアウンドはいずれも東京湾に逃げるように飛行しているそうです。

羽田でゴーアウンドがあるのは、やはり3、45度の角度と、人口密集地の上を飛ぶ心理的な負担が大きいのではないのでしょうか。着陸のやり直しになると、大半が東京（湾）上空で旋回し、燃料を放出してから滑走路に向かいます。それだけ上空は汚染されることになります。

○ 訴訟準備

羽田問題訴訟の会など複数の団体がこの問題で行政訴訟・民事訴訟の準備を進めています。

裁判など誰も望んでいないのに仕方ない事なのでしょう。不適切な施策は国民の不幸です。

○ 「図書館跡地に音楽ホールを！」 追加署名の提出を準備中

4月末に提出した後、200筆あまりが集まっているので、6月に追加する予定です。今後も続けます。コロナ騒ぎが落ち着いて、コンサートや練習の機会が復活すれば、署名もお願いしやすくなります。その意味でも早い収束が望まれます。

区長との面談、区側の常盤台住民に対する説明、の二つを要望していますが、区からはまだ何の返答もありません。

これは常盤台の街の質にかかわる大きな問題なのです。図書館跡地は景観重点地区である住宅地の中の場所で、いわば私たちの庭に当たる場所なので、そこにふさわしいものを建てるのが、私たちの希望なのです。

またこのことは板橋区のためにもなる事と確信しています。これといった魅力のない板橋区の中で、常盤台は特殊です。祖父母の時代から住民は誇りをもって住んできました。常盤台への郷土愛や誇りが生きているうちにまちづくりを進めれば、区にとっても宝が増えるのです。

○ インターネット署名



作曲家の小林樹さんがこの署名運動を知り、インターネットを使っての署名集めを工夫してくださいました。外出自粛などが続く中で音楽関係の方は本当に困っていますが、この運動は夢を与えてくれるものだと賛成し協力して下さることになりました。

<https://hikarunoatorie.info/tokiwa-signature/>

こちらで署名を受け付けていますので、利用してください。拡散していただければ幸いです。

カルガモ・カワセミ・スズメ

ときわ台駅ロータリーの噴水池に、なんと一つがいのカルガモが浮かんでいました。平和公園では二つがいが池を占拠していましたが、縄張り争いで負けた方がこちらに来たのでしょうか。

石神井川では数年前からカワセミの姿が見られるようになり、話題になっていましたが、五月中旬に通りがかかると、近所の人を手招きして教えてくれました。雌が川中のコンクリートの上でじっとしていました。雄が求愛給餌のため、プレゼントを持って来るのを待っているところだそうです。周りでは大声も出さないように気を使っているようでした。

スズメが雛を連れて歩くようになりました。親に餌をねだる声があちこちで聞かれます。緑の多い町ならではの情景です。

ただ、毎日お天気が良いと、三時からあの飛行機の音が響いてくるのが不愉快です。

緊急事態宣言解除後に配布とは

やっと一丁目にも二枚のアベノマスクが配達されてきたようです。なんとという遅さ！

買占められて品不足の状況で、友人・知人の手作りマスクに感謝している人も多いことでしょう。

この前の水害の時でしたか、ホームレスの人が避難所で断られた例が批判を受けていたように、いざという災害時では、誰も差別されることはありません。

給付金の申請書もやっと届き始めました。

大山鳴動してネズミ一匹!!

新型コロナウイルスに気をとられていると油断大敵！四月中旬我が家の書斎兼物置兼ドレッシングルームにネズミの糞を発見！

直ぐにネズミバスターに依頼、またそこにウイルス除去・除菌・消臭の“次亜塩素酸水”（カネヨ石鹼）と“ジアのチカラ”（ピュアソン）等3本ぐらい撒き散らしました。それから約一か月、とても賢いネズミとの闘いをいまだに継続しています。負けそうです。

“次亜塩素酸水”は後から気化してきて、私は気化した塩素を吸い込み、粘膜をやられて喉・鼻・唇・目・皮膚…と軽い火傷状態になりました。匂いや味も感じられず、毎晩の頭痛、ハイターのような濃い臭気に常に悩まされています。医者に言わせると、この家に住んでいることは、毎日薄い塩素水を呼吸し飲んでいく状況だそうで、肺をやられる場合もあるそうです。

ひどい悪臭がしみ込んだ衣類は捨てざるを得ません。床のじゅうたんは剥がしてフローリングに改装、大変な出費です。

とりもち付き鼠捕りシートにはたった一匹しかかかっていませんでした！2cm四方の穴からも出入りするので、まだいるかもしれせん。

お願いしているヘルパーさんによると、常盤台はネズミの準危険地帯だとか。退治する時は体調を考えて、ウィークリーマンションや支援センターで宿泊可能な場所を探して貰い、家から一週間ぐらい逃げ出さないと命にかかります。簡単ではありませんのでご相談にのるつもりでいます。気を付けて！

E・O

常盤台公園のはなづくり

コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて、板橋区のみどり公園課からの連絡で、六月五日に予定されていた「六月の花苗配布」が中止になりました。

こんなことにも影響が出るとは驚きです。花の苗の受け渡しに、何かウイルスの介在する場面があるのでしようか。納得しにくいことです。

まあ、公園の花壇は、ご寄付やマーマレード売り上げの残金でなんとかしたいと思っています。

公園のバラは日当たりも悪いうえに、最近の花時には、強風と強い日射しで花びらがすぐ萎れてしまいます。日光がここ数年、今までに無いほど、刺すような日射しに感じますが、皆さんはどう思いますか？

図書館が解体されたあと、おそらく公園も改修されるのではないかと思えます。桜の木はだいぶ傷んでいるので、伐採を免れないのではないかと思われすが、私たちはどんな公園を望んでいるのでしょうか。

二十年近くも前に行われたようなワイクシヨップをしてほしいと思います。その通りにやってくれない、と不満は出るでしょうが、少なくとも区民の意向を尊重しようとする姿勢と受け止められるでしょう。

